

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働組合](#) | [選挙活動](#) | [勝つための戦略立案の基本③](#)
[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[組織活動](#)[組織運営と法律](#)[労働安全衛生](#)[経営対策活動](#)[教育・宣伝活動](#)[労働時間をめぐる諸問題](#)[教育活動](#)[選挙活動](#)[組合組織（公務員）](#)[教育カリキュラム](#)[🔍 キーワード検索はこちら](#)

勝つための戦略立案の基本③

主権在民思想の現れ

選挙活動は大衆運動である。主役・主権は国民一人一人、民意の反映が民主主義であり、民主政治を具現化するのが選挙です。国民の中から国民の手によって、国民のために、権力の行使者が選ばれます。国民・大衆と共にあれ、です。

したがって、「**有権者の立場にたつて、有権者と共に、有権者のために**」これが選挙陣営の全軍に指示すべき大号令でなければなりません。選挙の勝利は、主権在民に合致した活動の結果なのです。

戒め事項 5点 → 票取り主義

1. エリート意識（候補者側にある大衆蔑視の姿勢）
2. ものぐさ・わずらわしさ意識（暑い、寒い、忙しいという理由で動こうとしない）
3. 用事がないという意識（あえて接触する用事がない。用事は自ら作るもの）
4. 活動家がない、活動体制をつくらうとしない（個人の行動には限界あり、議員の活動を支え、拡充する活動家、体制が必要です）
5. 選挙の時だけ票が取れば良いという意識

「**有権者の立場にたつ**」ことは、有権者の要望をくみ上げ、生かしていく、そのための「聞いてくれる耳」を持つことです。

「**有権者と共に**」とは、有権者を参加させること。日頃からいろんな活動に参画させる、日頃から知らせる→言わせる活動を行い、そして役割を担わせること。そうすることによって、「共感 → 参加（第一ステップ）→運動（第二ステップ）→得票（第三ステップ）」へとつながります。

1. 所属させる。2. 帰属意識を持たせる。3. 役割を持ち協同する（共通の目標実現）。4. 組織の枠を越え、社会との係わりを自覚する。

「**有権者のために**」とは、有権者の味方となることです。有権者を味方にする前に、有権者の味方になる、その努力・情熱が必要です。

有権者が味方となる理由は、

1. 候補者側がこれまで有権者のために努力と誠意を尽くしてきた。
 2. これから尽くそうとしている気持ち信頼されている。
 3. 同じ仲間という意識がある。
- そのための心構えは、
1. 己を捨てる。（無私的心）
 2. 尽くす喜びを知る。（何をどう尽くすのか）
 3. 断固として闘う姿勢をたもつ。（信念と勇氣）——同調と共感を呼ぶ

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>> [一覧へ戻る](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**